

報道関係 各位

2020年5月18日
株式会社キューサイ分析研究所

GMO（遺伝子組換え）検査方法追加

新型コロナウイルスの影響による輸入原産国の変更を受け、サービスを拡大

株式会社キューサイ分析研究所（本社：福岡県宗像市、代表取締役社長：高橋 隆治）は、今年1月に開始した GMO（遺伝子組換え）検査について、新たな検査方法を追加することをご報告いたします。

■背景

新型コロナウイルスの感染拡大により一部の国で導入している輸出規制の影響で、食品の輸入原産国が変更になり、食品メーカーさまや卸売業者さまから当社への GMO 検査のご依頼が増加しております。そこで、ご要望いただいている各種検査に対応できるよう、従来のイムノクロマト法による GMO 検査に加え、検査手法と原理の異なる 3 種類の GMO 検査方法を追加することといたしました。2020年5月18日からは、ご依頼が多い大豆についての GMO 検査を先んじて追加いたします。2023年の遺伝子組換え表示制度変更の対応としてサービスの拡大を進めておりましたが、今回、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、時期を前倒しして開始することといたしました。

■概要

<追加となる検査方法>

- イライザ法による大豆の GMO 検査 【2020年5月18日～】
- PCR法による大豆の GMO 定性試験 【2020年5月18日～】
- PCR法による大豆の GMO 定量試験 【2020年6月1日～】

<対象>

大豆の原料及び、その加工品。大豆の加工品例は、下記の通りです。

- ① 乾燥ダイズ加工食品（凍り豆腐、おから、ゆば、きな粉、大豆いり豆）
- ② 水分を含むダイズ加工食品（豆腐、油揚げ、納豆、豆乳、みそ、大豆煮豆、大豆缶・瓶詰）等

※加工食品については、PCR法による定性試験のみとなります。

なお、今後は検査対象にトウモロコシ、ジャガイモを追加する予定です。今後もサービスの拡大を図り、皆さまの食の安全・安心に寄与してまいります。

株式会社キューサイ分析研究所

厚生労働省登録検査機関（厚生労働省発九厚 1129 第 1 号）、ISO/IEC 17025 認定試験所（範囲限定）

【実施可能な検査・分析リスト】 残留農薬検査/動物用医薬品等検査/栄養成分検査/脂肪酸類・糖類検査/重金属検査/放射性物質検査/異物検査/細菌検査/カビ毒検査/食品添加物検査/有害物質検査/味分析/GMO 検査

◆検査に関するご相談・ご依頼はこちらへ

TEL：0940-37-8070 FAX:0940-37-3991 メールアドレス：info@nouyaku-bunseki.net

【本件のお問い合わせ先】 キューサイ株式会社 広報窓口

TEL：092-724-0179 メールアドレス：koho@kyusai.co.jp

<https://corporate.kyusai.co.jp/>

キューサイ 企業

検索